

<p>■After</p> <p>建築名称 下段: 英語名</p>	<p>宿毛まちなえき林邸</p> <p>Sukumo Hayashi-Tel conversion Project</p>			
<p>建築用途</p>	<p>大分類 集会施設 商業施設</p>	<p>小分類 コミュニティスペース カフェ</p>		
<p>改修設計者</p>	<p>古谷誠章/NASCA+早稲田大学古谷誠章研究室+ 細木建築研究所</p>		<p><a href="#">URL</a></p>	
<p>所在地</p>	<p>高知県宿毛市中央3-1-3</p>		<p><a href="#">Google Map</a></p>	<p>After 外観</p>
<p>改修年</p>	<p>2018年</p>		<p>撮影者 提供者</p>	<p>撮影: 浅川敏 提供: ナスカ一級建築士事務所</p>
<p>建築規模</p>	<p>木造1階建、延べ床面積: 494.69m<sup>2</sup></p>		<p>概要 after</p>	<p>歴史的建築が地域の記憶装置として未来へと継承されるように「文化的改修」と「現代的改修」に分けて改修</p>
<p>関連事項</p>	<p>受賞: 2018.高知県木の文化賞</p>			
<p>■Before</p> <p>建築名称</p>	<p>林邸</p>		<p>概要 before</p>	<p>林有造が明治22年に創建した住宅。築130年近くが経過し老朽化が激しい状態</p>
<p>建築用途</p>	<p>大分類 住居施設</p>	<p>小分類 住宅</p>		
<p>■写真</p> <p>Before</p> <p>リノベーション前の室内</p>	<p>After</p> <p>内観: 正面に組子耐震壁が見える</p>		<p>After</p> <p>引出し階段を現在の法規に合うよう改修して活用</p>	
				
<p>撮影 提供者</p>	<p>提供: ナスカ一級建築士事務所</p>		<p>撮影 提供者</p>	<p>撮影: 浅川敏 提供: ナスカ一級建築士事務所</p>
<p>■リノベーション内容</p>	<p>キーワード</p> <p>文化的改修 現代的改修 組子耐震壁 ガラス耐震壁</p>	<p>内容</p> <p>&lt;ナスカ一級建築士事務所Websiteより抜粋&gt; 林邸は林有造が明治22年に創建、その政治活動の場として用いられ、現在でも当時の自由民権運動を思わせる邸宅として宿毛市民から親しまれていた。林邸はこれまで個人の私有財産であったが、築130年近くが経過し老朽化が激しい状態であった。この度、宿毛市への寄贈・改修の機会を得たことから、この貴重な歴史的建築が地域の記憶装置として未来へと継承されるように、単純な復元では無く地域の人々の活動の場として更新することを考えた。建築を「文化的改修」と「現代的改修」の2つのエリアに分けることで、宿毛市の中で観光やまちづくりの中心としても機能し、地域外の人々も訪れる施設となることを目指した。また東大稲山教授と協働し、障子に合わせ配置することで和室において存在感の無い「ガラス耐震壁」と、視線や光を透過し美しい陰影を生じる「組子耐</p>		
	<p>■備考</p>	<p>0</p>		
<p>■作成者 氏名/所属</p>	<p>桐原武志/Free JIA再生部会</p>		<p>管理者 記載</p>	